

各地域での 取組紹介



「はばたき感謝祭」レポート

鳴見台小学校区青少年育成協議会 会長 中本 年信



鳴見台小学校区では学校を中心に、自治会、敬老会、育友会などの団体が協力して、毎年11月に「はばたき感謝祭」を行っています。感謝祭は、子どもたちが春の種まきから行い、収穫したお米を使った「もちつき」と子どもたちの運営による「収穫祭」、そして「ふれあい広場」の三部構成となっています。昨年の「ふれあい広場」は、「凧づくり」「松ぼっくり細工」、「ゴム跳び・コマ回し・折り紙などの「昔遊び」を行いました。今年は学校の創立30周年ということもあり、11月17日の感謝祭の中で式典を計画中です。

編集後記

「長崎・広島子ども親善交歓会」今年は長崎の子どもたちが広島を訪れました。平和を話しあい、学びあいながら親睦を深めていく様子が特集記事の感想文に見てとれます。これらの活動に対する決意も併せて、是非ご一読ください。

次号予告

ぜひお立ち寄りください!

内容 「活動事例発表会」開催!

日時 令和2年2月9日(日) 13:00~15:15

会場 メルカつきまち5階 プラザホール

各地域の育成協活動を発表し、広報紙を展示します。

申込不要、途中の入退室も可能です。



いつも楽しく 「北館区育成連」

北公民館区青少年育成連絡協議会
事務局 松尾 信之

北公民館区内の13の学校と8の育成協を中心には「北館区育成連」を組織しています。12月には「北公民館まつり」のステージ発表で小中学校吹奏楽部が出演し、2月には「北館区ゆめフェスティバル」を開催。毎回、約200人以上の子どもが楽しんでいます。年末には館区内の各小・中学校で門松づくりが一斉に行われ、その模様を年末年始の約2週間にわたって公民館ロビーで展示。各学校によって、門松の作り方や高さ、飾りつけに工夫が見られ、興味深いです。

「子どもゆめ フェスティバル2019」開催!



長崎市子ども会育成連合会長 久米 直

子どもたちが子どもたちのために企画・運営するイベントを開催します。3つのステージ発表と12のブース出店を予定しており、文化の秋を子どもたちが彩ります。入退場は自由です。ぜひ、ご来場ください。

●日時 令和元年11月30日(土)
12:00~15:30[開場11:30]

●会場 長崎県立総合体育館サブアリーナ

●問い合わせ 長崎市子ども会育成連合会事務局
(長崎市こども部こどもみらい課内)
電話095(825)1949

のびゆく



今号の内容

- ・第42回広島・長崎子ども会親善交歓会
- ・北公民館区青少年育成連絡協議会の取り組み

- ・各地区の青少年育成協議会の紹介
- ・鳴見台小学校区青少年育成協議会の取り組み

87

令和元年11月1日
長崎市青少年育成連絡協議会だより



2回目の広島訪問で
学んだこと

ジュニアリーダー空

小林 和心 (中2)

私は今回の交歓会で心に残ったことが3つあります。

1つ目は広島の原爆についてです。原爆ドームを間近で見るのは2回目でしたが、いつ見ても原爆の恐ろしさとその威力を知ることができました。また、広島と長崎は世界で唯一、原爆を落とされた都市なので、3つ目の原爆が落とされないよう平和につながる活動を率先してやろうと思いました。

2つ目は折り鶴タワーです。折り鶴タワーの一角はガラス張りでできています。そのガラスの間に自分が折った鶴を投入することができます。上からぞくいてみると、何百、何千羽もの折り鶴があり、こんなにも平和を願う人がいるんだと改めて思いました。

3つ目はリーダーとしての自覚です。最初は班をまとめられるか不安でしたが、無事にまとめられたのでとても嬉しかったです。今回の交歓会で学んだ平和への思いを忘れずに来年の交歓会もまた参加して、学びを深めていきたいと思います。

のびゆく長崎っ子…

各校区にある青少年育成協議会の活動等を紹介する長崎市青少年育成連絡協議会の広報紙

ジュニアリーダー空…

長崎市内の中学生・高校生を中心に子ども会の行事等の運営や活動の手伝いをするボランティア団体

第42回 広島・長崎 子ども会 親善交歓会

8月23日～25日の3日間、広島市に向かいました。リニューアルした平和記念資料館や折り鶴タワーを訪れ、平和学習を行いながら、キャンプファイヤーを通して交流を深めました。

1日目 START!

出発式
青少年野外活動センター入所式
星空観察会(雨天のため星空の講話)



2日目

平和記念公園フィールドワーク(献花式、千羽鶴献納、原爆ドーム見学)
平和学習(平和記念資料館・折り鶴タワー見学)
キャンプファイヤー、レクリエーション



3日目 GOAL!

お別れ式
青少年野外活動センター退所式
解団式



参加したピースボランティアから一言感想。

参加させてもらい感謝の気持ちでいっぱいです。被爆地・長崎の代表として自信を持ち、今回の体験をこれからのピースボランティアの活動に生かし、周囲に伝えていきたいです。勉強になったことがたくさんあり、多くの人と楽しめた有意義な3日間でした。

青少年ピースボランティア 本多 梨乃(大学2年)



最後の夜のおしゃべりタイム！

キャンプファイヤーの準備



最高の交流ができた 3日間

私は初めて交歓会に参りました。学校の平和学習で長崎の原爆を学び、広島の原爆についても知りたいと思ったからです。広島で使われたトルボーンは、長崎で使われたファットマンより威力がないのに、長崎の死者数の倍の人人が一瞬で亡くなられたことがとても信じられません。「核の怖さをもっと世界中の人に知つてもらいたい」、「この世から核をなくしてほしい」と思いました。

私は今回で7回目の参加でした。今回の交歓会に参加するにあたって、個人的に2つの目標を立てました。
1つ目はリーダーとして参加者に交流を楽しんでもらうサポートをするということです。私が最初にこの会に参加したのは小6の時でした。緊張していた私に、ジュニアリーダーとして参加者に交流を楽しんでもらうサポートアリーダーは優しく話しかけてくれたり、レクリエーションなどを回りと仲良くなるサポートをして